



KAKEHASHI Project 招へいプログラム 一般交流（大学生）の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、米国より大学生ら計 175 名が来日し、日本の政治、社会、歴史、文化および外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成 27 年 12 月 15 日から 12 月 22 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

米国 172 名

3. 訪問地

東京都、長野県、岩手県

4. 日程

12 月 15 日（火）成田国際空港より入国

12 月 16 日（水）来日オリエンテーション

【日本の外交政策に関する講義】外務省北米局

【日本理解講義】日本理解促進（政治・経済）明治大学

12 月 17 日（木）～12 月 20 日（日） 地方プログラム

* 長野県

【学校交流】松本大学

【地方自治体表敬】長野県庁

【地場産業】マルコメ味噌

【環境】白馬ジャンプ競技場

【地場産業】大王わさび農場

【ホームステイ】ホストファミリー対面式、歓送会

【ワークショップ】

* 岩手県

【地方自治体表敬】久慈市

【学校交流】岩手県立大学

【地場産業視察・体験】琥珀勾玉作り体験

【ホームステイ】ホストファミリー対面式、歓送会

【ワークショップ】

12 月 21 日（月）東京へ移動

【成果報告会】訪日成果・帰国後活動計画発表

12月22日（水）【歴史・伝統文化】明治神宮・原宿
成田国際空港より出国

5. 一般交流（大学生）プログラム記録写真



12/17【地場産業】マルコメ味噌（長野市）



12/17【地方自治体表敬】長野県庁（長野市）



12/18【学校交流】松本大学（松本市）



12/19【ホームステイ】（白馬村）



12/20【環境】白馬ジャンプ競技場（白馬村）



12/20【地場産業】大王わさび農場（白馬村）



12/17【学校交流】岩手県立大学（滝沢市）



12/18【地方自治体表敬】久慈市



12/18【地場産業体験】琥珀勾玉作り体験（久慈市）



12/19【ホームステイ】（久慈市）



12/20【ホームステイ歓送会】（久慈市）



12/21【成果報告会】（東京）

6. 参加者の感想

◆ 米国 大学生

ビジネスやテクノロジーの分野で発展しながらも、文化遺産もよく保存する日本の力が印象に残ります。また、日本の食事を堪能しました。アメリカの食べ物よりずっと美味しく、カリフォルニアで自分が食べているどんなものより健康的に思えます。そして、日本の風景にも感動しました。風景は、日本の人々の毎日の生活の中に切り離されることなく溶け込んでいました。

◆ 米国 大学生

一番感心したのは日本のインフラと公共サービスが効率的にできている点です。中でも新幹線はすごいと思いました。山手線や新幹線に乗ると、人口が密集する都市の生活が、技術や文化的要素のおかげでどれほど住み易くなるかがわかります。

◆ 米国 大学生

日本とアメリカの文化は対照的だと思いました。一例をあげるとアメリカでは警官が至る所にいますが、日本では逆にほとんど見かけないにもかかわらず、日本の犯罪率は極めて低いのです。他にも、日本の町中にごみ箱がどこにもないのにゴミが散らかっていません。つまりアメリカで解決法だと思われることが実は問題の原因を作り出しているようです。日本の風景や日本人の素晴らしさを帰国したらぜひ伝えたいです。

◆ 米国 大学生

日本がいかに清潔で安全であるかということを発信したいと思います。米国と比べると公衆トイレでも、とても清潔です。ほとんどのトイレにはビデがついており、外が寒い時に暖かい便座に座るのは気持ちよかったです。また、米国では、マスクをしていると不審者や何か悪いことをしようとしている人のように見られてしまいますが、日本ではどこでもマスクを着用してもかまいません。日本ではウイルスを撒き散らしたり、うつされないようにマスクをつけることは、一般的なマナーのようなものとなっているようでした。今回のプログラムで最も印象深かったことは、都会と、ホームステイを体験した地方との「切り替え」でした。プログラムのはじめは東京で秋葉原に行きましたが、大型のギラギラした電飾の看板があって、狭い場所に隣り合わせに建てられた建物でいっぱいでした。ホームステイを体験した久慈市では雪や農地、山がありました。このような日本のふたつの側面を見ることができて良かったと思います。また、もっと多くのこと見てみたいと思います。

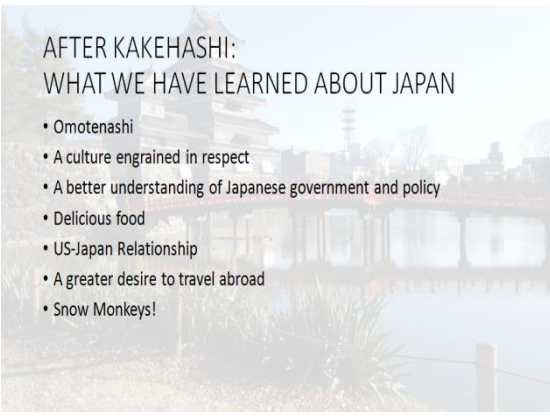
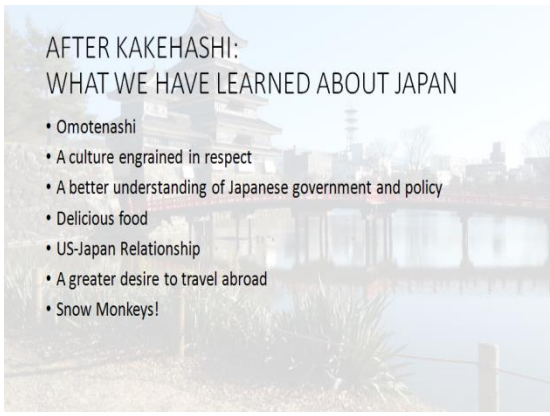
◆ 米国 大学生

第二次世界大戦後に策定された日本の新しい政策に興味を持ちました。日本には軍隊はなく、自衛隊があるということも驚きました。訪れた町で見た、コンパクトで背が高く、耐震構造の建築物にも興味を持ちました。また、新幹線やトイレなどの技術も印象深いです。ホームステイは日本の文化を知る良い機会となりました。ホストファミリーは心から私達を歓迎してくれて、親切でした。少し言葉の壁はありましたが、出会ったばかりなのに、とても居心地よく過ごすことができました。漁をするところや神社、ご両親のお墓があるお寺につれて行ってくれました。そのような伝統的な部分をじかにみることができて良かったと思います。帰国後、私が見たり経験したりしたことを共有したいと思っています。私が学んだことを日米間のつながりの強化に役立てられればと思っています。

◆ 米国 大学生

社会全体で目標を共有し、全員で努力する姿に感心しました。日本人はもっと閉鎖的で個人主義かと思っていましたが、自分を温かく迎え入れてくれました。おもてなしの心やコミュニティを大事にする日本文化にふれて、日本に対する見方が変わりました。帰国したらそうした文化面の発見を周囲に伝えたいです。

7. 参加者の報告会での報告内容(帰国後の発信計画)

Culture - Traditions • Kindness & Patience • Gift Giving • Omiyage • Work Ethic • Cooperation  	Action Plan • University • International Center • Classroom Discussion • Student Organizations • Professional 
日本での気づき	アクションプラン
Aesthetics & Culture • Hospitality • National treasures • Social cohesion   	Action Plan Immediate: • Social Media • Photos • Verbal Long-Term: • Community presentations • Blogs • Local Media • Future interaction and return 
日本での気づき	アクションプラン
AFTER KAKEHASHI: WHAT WE HAVE LEARNED ABOUT JAPAN • Omotenashi • A culture engrained in respect • A better understanding of Japanese government and policy • Delicious food • US-Japan Relationship • A greater desire to travel abroad • Snow Monkeys! 	AFTER KAKEHASHI: WHAT WE HAVE LEARNED ABOUT JAPAN • Omotenashi • A culture engrained in respect • A better understanding of Japanese government and policy • Delicious food • US-Japan Relationship • A greater desire to travel abroad • Snow Monkeys! 
日本での気づき	アクションプラン